

# 令和4年度 主な事業実績

令和5年2月10日

## 1 七島藺のPR・新規生産者確保の機会創出事業

### (1) 浜干し再現イベントの開催

七島藺の歴史や魅力を発信するとともに世界農業遺産のPRを図るため、浜干しの再現イベントを実施した。なお、浜干しに使用した七島藺は大分県立国東高等学校と別府大学の生徒の協力のもと生産し、生産手法の次世代継承を図った。

〈生産体験〉

5月6日(金) 株分け作業体験

5月7日(土) 植付け作業体験

8月4日(木) 刈取り作業体験

8月5日(金) 分割作業体験

8月6日(土) 浜干しイベントの開催

場 所：黒津崎海岸(くにさき観光案内所裏)

協 力：くにさき七島藺振興会

国東市、国東市観光協会

NPO 法人国東市手と手とまちづくりたい

参加者：国東高校、別府大学、地域住民など約70人



お知らせポスター



新聞記事

### (2) 生産現場へのバイヤー(豊屋)の招聘

東京都、大阪府など都市圏の豊屋(バイヤー)を生産現場へ招聘し、植付け体験や意見交換を実施した。参加いただいた豊屋には、七島藺表(半畳)を贈呈し、琉球畳の試作や顧客への説明用として活用していただいている。



半自動織機視察の様子

### (3) 新規就農者の確保

七島藺の生産者が国東市安岐町の7軒の農家だけとなっており、最年少者が50代であることから、新規就農者の確保を目的として大分県が主催する就農・就業フェアにブース出展した。

〈第1回・福岡会場〉

月日：令和4年6月25日(土)

会場：天神ビル(福岡県福岡市中央区天神)

〈第2回・東京会場〉

月日：令和4年7月30日(土)

会場：アーバンネット神田カンファレンス(東京都千代田区内神田)

〈第3回・大阪会場〉

月日：令和5年1月28日(土)

会場：阪急グランドビル(大阪府大阪市北区角田町)



就農相談の様子



## 2 次世代継承教育事業

### (1) 小学生向け教材本(漫画本)の配布

世界農業遺産を分かりやすく勉強し、郷土の持つ魅力に興味・関心を持ってもらうため、小学生向け教材本(漫画本)を認定地域内の全小学校 59 校の 5 年生(1,297 名)に配布し、各学級で授業を行い、次世代への継承の取組を行った。



### (2) 小学生向け作文コンクール

認定地域内の小学校 5 年生及び 6 年生を対象に作文コンクールを実施した。入賞作品集は協会ホームページや教育庁ホームページに掲載予定。

応募点数：21 校・129 点(入賞 6 点)

最優秀賞作品：「新たな学び」(杵築市立大田小学校 6 年 <sup>ふくだ たかひろ</sup>福田 峻大)

### (3) 中学校特別授業

地域の自然や伝統文化のすばらしさを調査・研究する姿勢や郷土を愛する心を育むため、認定地域内の全中学校 23 校で、地域の農業従事者や行政関係者などを講師とした特別授業を実施することで、次世代への継承の取組を行った。

## 3 高校生聞き書き事業

世界農業遺産に認定された郷土の価値、すばらしさを感じてもらうため、認定地域内 8 校の高校生が、農業従事者などの「地域の名人」を訪ね、その知恵や工夫、思いなどをインタビューして取りまとめる「聞き書き」を平成 26 年度から継続して実施している。令和 4 年度は認定地域内 8 校に加えて、認定地域外 3 校の高校生も参加し、「聞き書き」を実施した。

また、令和 3 年度に「聞き書き」を実施した生徒による体験発表会を開催し、当日は報道関係者による取材があり、本事業の取組をニュースや新聞記事を通して周知することができた。

〈令和 4 年度聞き書き〉

実施者：生徒 71 名(11 校 22 チーム)、  
名人 22 名(農業、林業、水産業等)

内容：研修会(2 回)、名人へのインタビュー  
(2 回程度)、文章の書き起こし、  
作品集の作成・配布



研修会での発表の様子



取材の様子(安心院高校)

〈聞き書き発表会(令和3年度聞き書き実施校)〉

日 時：令和4年7月14日(木)14:00～16:00

場 所：杵築市文化体育館

参加者：会場参加 約100名、杵築高校全校生徒がオンラインで視聴

発表校：

- ① 自然の一部になる仕事 ～ 炭焼きの極意 ～  
大分県立高田高等学校 普通科  
地域の名人：春山 林生 氏〔国東市／茶の湯炭製炭・販売〕
- ② 自信を持って提供します ～ そば作りにかかる思い ～  
大分県立高田高等学校 普通科  
地域の名人：神田 三重子 氏〔豊後高田市／農業(そば)〕
- ③ 堀口さんの幸せいちご ～ 新しい農業の考えで道を切り開く ～  
大分県立杵築高等学校 普通科  
地域の名人：堀口 昌勝 氏〔杵築市／農業(いちご)〕
- ④ 恵まれた自然と共に生きる椎茸栽培 ～ 椎茸へ愛情を注ぐ若き生産者 ～  
大分県立国東高等学校 環境土木科  
地域の名人：橋上 智和 氏〔国東市／農林業(原木椎茸、水稲、大豆)〕
- ⑤ 自然と生きる ～ おいしい葡萄をご家庭に ～  
大分県立宇佐高等学校 普通科  
地域の名人：和泉 陣 氏〔豊後高田市／農業(ブドウ)〕
- ⑥ 田舎に帰っておいで ～ 安心院に生きる私の思い ～  
大分県立安心院高等学校 普通科  
地域の名人：時枝 仁子 氏〔宇佐市／農村民泊経営〕
- ⑦ 湧水がはぐくむ城下かれい ～ 別府湾の海洋生物の生息を守り続けて ～  
大分県立日出総合高等学校 総合学科  
地域の名人：松澤 京子 氏〔日出町／日出町役場〕



生徒による発表の様子



インタビューの様子

#### 4 大学連携魅力発信事業

別府大学と連携し、世界農業遺産体験学習の単元化や大分農業文化公園と協力したPR活動を行った。学習成果の発表や大学の特色を生かした活動、広報活動を行うことで将来を担う若い世代が世界農業遺産の価値や地域について学び、その魅力を発信した。



農林水産祭でのPRの様子

#### 5 教育旅行等受入体制整備事業

##### (1) 受入課題抽出のためのモニター実施

各プログラムの課題を抽出するため、県内中学校の協力のもとモニターを実施した。

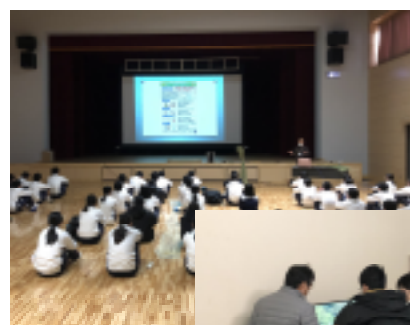
月日：令和4年12月22日(木)

協力：学校法人大分中学校

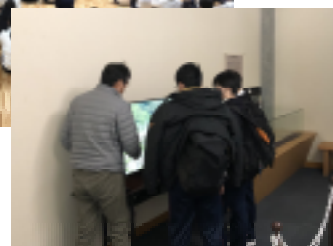
特進クラス1～3年生

実施プログラム：

- ・世界農業遺産旭日プロジェクト(1年生)
- ・荘園の里推進委員会(2年生)
- ・鬼会の里歴史資料館(3年生)
- ・くにさき七島蘭振興会(1～3年生)



モニターの様子



##### (2) 県内ホテルとの連携

教育旅行の受入を行っているホテルとの連携することにより、ホテル利用者向けに世界農業遺産プログラムの情報発信を行った。

協力ホテル：城島高原ホテル、住吉浜リゾートパーク、Hotel & Resorts BEPPUWAN

協力方法：世界農業遺産専用パンフレットラックの作成・設置、県外旅行会社向け商談時のパンフレットの配布・プログラムの紹介



パンフレットラック設置例  
(Hotel&Resorts BEPPUWAN)

##### (3) 教育旅行を取扱う旅行会社向けのプレゼンの実施

福岡県北九州市圏内の旅行会社向けに世界農業遺産プログラムや農泊体験の紹介を行い、令和6年度の教育旅行提案時に紹介していただけるようお願いした。

※ 令和4年度は、大阪府・静岡県の高校2校が修学旅行でプログラムを活用したほか、大分市内の小学校が社会見学の体験先として活用した。

#### (4) GIAHS ガイド育成研修の実施

教育旅行プログラムや体験素材集プログラム実施時の世界農業遺産全般と各体験プログラムの説明ができるガイドを育成するため、研修会を実施した。

〈第1回〉

月日：令和4年8月23日(火)

場所：宇佐市両合地区

内容：農村民泊の取組について  
両合棚田の取組について

〈第2回〉

月日：令和4年12月8日(木)

内容：姫島村における取組について  
(ジオパークとの協力)  
姫島の郷土料理について

〈第3回〉

月日：令和5年3月1日(水)実施予定

内容：モデルツアーの実施  
(実際のガイドを想定した実践型の研修)



各研修の様子

## 6 地域活力支援事業

農耕文化の保全・継承や地域づくり活動の促進を図るため、農耕に関する伝統芸能の保存や世界農業遺産を活用した地域の自主的な活動等を行う団体に対して支援を行った。これらの支援を通じて、地域の活動団体との連携を強化するとともに、幅広い情報発信が期待できる。

〈採択件数：9件(申請件数：9件)〉

- ・御田植祭実行委員会(豊後高田市)
- ・荘園の里推進委員会(豊後高田市)
- ・株式会社 江戸心本館(宇佐市)
- ・雅設置プロジェクト 佐田の郷の会(宇佐市)
- ・特定非営利活動法人 AmaRi(宇佐市)
- ・雲ヶ岳をまもる会(杵築市)
- ・田深まちなかグループ(国東市)
- ・森のようちえん ほしのたね(国東市)
- ・世界農業遺産ブランド活用くにさき協議会(国東市)



(ウェブサイト PAPERSKY Japan Stories 掲載)



御田植祭(オンバレ) 牛の張り子の補修

## 7 広域連携共同事業

世界農業遺産に認定された地域が共同で事業を行い、相乗効果を発揮することで、世界農業遺産の認知度向上や交流人口の拡大、地域製品の販売促進を促すとともに、世界農業遺産の認定効果の更なる向上を図るため、九州の認定地域である熊本・宮崎・大分の3地域共同により「九州 GIAHS フェア」を開催した。

〈九州 GIAHS フェア〉

日程：令和4年10月15日(土)～16日(日)

場所：イオンパークプレイス大分店1階サニーウォーク  
ツツミ・グランサックス前  
(大分県大分市公園通り西2丁目1番)

内容：大分・熊本・宮崎3地域の農林水産物の販売  
(大分県：宇佐市、日出町)、パンフレット配布、  
ポスター展示、クイズラリー実施



販売の様子



PR ブース展示

## 8 魅力発信・販路開拓支援事業

大分県のフラッグシップ「坐来大分」や都市圏の商業施設を活用し、世界農業遺産や地域製品の魅力をPRすることにより、認証品や応援商品の販路開拓・拡大につなげた。また、七島藺ワークショップでは、推進協議会の林会長と七島藺工芸作家 岩切氏が講師として参加した。

〈坐来大分メニューフェア〉

日程：令和4年11月1日(火)～30日(水)

場所：坐来大分(東京都千代田区有楽町)

使用食材：つや姫・乾しいたけ(国東市)、  
長命草(豊後高田市)、勝ちえび(宇佐市)、  
マダコ(姫島村)、ぎんなん(日出町)等



世界農業遺産メニューの一例

〈坐来大分 七島藺ワークショップ〉

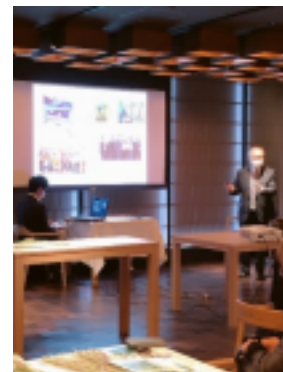
日程：令和4年11月26日(土)

場所：坐来大分(東京都千代田区有楽町)

講師：推進協議会 林 浩昭会長、  
七島藺工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



七島藺ワークショップの様子



林会長による  
講演の様子

〈世界農業遺産と大分うまいものフェア〉

日程：令和4年5月17日(火)～22日(日)  
場所：イオンモール筑紫野(福岡県筑紫野市)  
内容：応援商品販売(宇佐市、豊後高田市)、  
地域ブランド認証品展示



ブランド認証品展示の様子

日程：令和4年10月27日(木)～30日(日)  
場所：イオンモール福岡(福岡県糟屋郡粕屋町)  
内容：応援商品販売(松尾弘之商店)、  
地域ブランド認証品展示

9 農林水産業システムを補完するための調査研究事業

(1) モニタリングの助言事項に基づく調査研究

令和3年度に実施した農林水産省専門家会議によるモニタリングの助言事項に基づく学術的データの補完を図るため、調査研究を実施した。

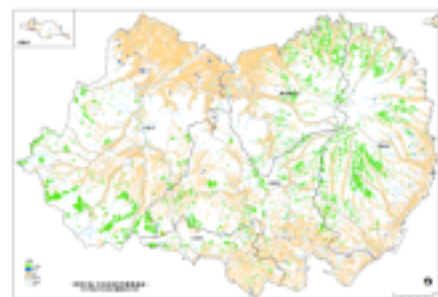
〈実施内容〉

① 認定地域における GIAHS 要素の分布調査

- ・マップの作成及び特徴的な河川流域の  
生物多様性調査

実施：(一財)日本造園修景協会大分県支部

内容：当地域世界農業遺産を象徴する要素  
である「クヌギ林」、「ため池」、「農地」  
の分布データを集積したマップの作成。



完成したマップ

また、マップ内で特徴的な分布が見られる河川流域における生物多様性調査の実施。

対応：助言事項内「(一部抜粋)農林水産業システムを包括的かつコンパクトに表わしている地区等を調査・検証」に対する対応。

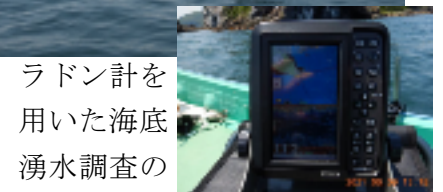
② 沿岸域における海底湧水調査

実施：国立大学法人京都大学 大学院理学研究科附属  
地球熱学研究施設 大沢 信二 教授

内容：ため池を経由した栄養塩を含む雨水が地下へ  
浸透し、海底湧水として沿岸域で湧出していると  
仮定した、当地域沿岸域における海底湧水の  
湧出状況の調査を実施



対応：助言事項内「(一部抜粋)本地域は、姫島も  
構成地域であるため、沿岸域の営みと自然の  
関わりについても、改めて検証されたい」に  
対する対応



ラドン計を用いた海底湧水調査の様子

(2) 保全・活用のための調査研究

協議会有識者で構成する「国東半島・宇佐 GIAHS 専門家会議」による研究テーマ及び実施方法の決定による調査研究を実施。(3件)

〈実施内容〉

①国東半島宇佐地域におけるサンショウウオ類の固有性・希少性に関する研究

実施：大分大学理工学部 永野 昌博 准教授

内容：令和4年3月に新種に指定された「ニホウサンショウウオ」について、分類学的再検討及び遺伝的集団構造の解明を進めることにより、種の希少性・固有性を明らかにする。また、地域の児童・住民とともに保全活動プログラムを開発・実践し、農業と自然・文化の関わりを学んでもらうことで郷土愛を育む。

②大分 GIAHS エコミュージアムを通じたため池アイデンティティの再構築・

コミュニティエンパワーメント・大分 GIAHS の活性化

実施：立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部 ヴァファダリ カゼム 教授

内容：景観や遺産を保全するためにエコミュージアム(野外博物館)コンセプトを通じた「ため池」、「歴史」、「食」、「文化」の保全などを検討し、地域コミュニティのエンパワーメント(※)を図る。

※組織を構成する一人ひとりが本来持っている力を発揮し、自らの意志決定により自発的に行動できるようにすること。

③農村の文化的景観の価値評価に関する研究 -豊後高田市田染地区を事例として-

実施：大分大学経済学部 林 勇貴 准教授

内容：経済学から見た農村の特性と価値の整理

価値計測方法の検討と価値向上に向けたこれからの農村形成の在り方の検討

## 10 認定市町村支援事業

認定市町村による取組の拡大を図るため、世界農業遺産を活用した事業に対する支援を行う。これらにより、市町村のPRと併せた世界農業遺産のPRができ、効果的な周知が図られる。

〈実施内容〉

豊後高田市：田染荘への看板設置 等

宇佐市：両合棚田を起点とした地域創生プロジェクト

国東市：世界農業遺産スポット看板設置 等

日出町：イベントやメディアを活用した情報発信 等



ひじ産業文化まつりでの  
情報発信（日出町）



11 情報発信事業

(1) 各種イベントでのPR

アクロス福岡の展示企画や大分トリニータホームゲーム、大分県農林水産祭等の機会を捉えて、パネル展示やパンフレット配布、七島蘭ミサンガづくりのワークショップを行い、世界農業遺産のPRを行った。

〈アクロス福岡の展示企画出展〉

月日：令和4年8月15日(月)～21日(日)

場所：アクロス福岡1階コミュニケーションエリア

実績：SNS フォトコンテスト入賞作品展示、PRグッズの配布

七島蘭ミサンガづくりワークショップ体験人数 112名

ワークショップ講師：七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



展示・ワークショップの様子

〈大分トリニータホームゲームブース出展〉

日程：令和4年7月10日(日)

場所：昭和電工ドーム

実績：七島蘭ミサンガづくりワーク

ショップ体験人数 200名

ワークショップ講師：七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



七島蘭ミサンガワークショップの様子

〈大分県農林水産祭おおいたみのりフェスタ出展〉

日程：令和4年10月22日(土)～23日(日)

場所：別府公園

実績：SNS フォトコンテスト入賞作品展示

PRグッズの配布、七島蘭織機の実演

協力：くにさき七島蘭振興会



出展の様子

(2) 多様な媒体を活用したPR

テレビ、ラジオ、新聞などのマスメディアや大分空港、九州圏内の情報発信誌、インターネット等を活用し、世界農業遺産のPRを行った。

田染荘など保存・活用探る



新聞掲載例(左：合同新聞(田染荘)、右：浜干しイベント(西日本新聞))

## 12 その他

### (1) JR九州クルーズトレインななつ星 in 九州における農業遺産体験

1月13日から計8回運行するJR九州クルーズトレインななつ星 in 九州の雲仙コースにおいて、国東市安岐町内の原木しいたけほだ場での収穫・試食体験と茶の湯炭の体験を実施。また、停車する杵築駅では、杵築市のブランド「きつきのきづき」やほだ場で体験した乾しいたけなどを販売するマルシェを実施。



ななつ星クルーによる現場確認

### (2) 農林水産副大臣の視察

令和4年11月12日(土)、13日(日)に開催された全国育樹祭に併せて来県された野中 農林水産副大臣が諸富商店と七島藺工房ななつむぎ(国東市安岐町)を訪問し、世界農業遺産の取組と七島藺の生産・工芸の取組について、視察した。

日程：令和4年11月12日(土)

場所：諸富商店、七島藺工房ななつむぎ

対応：七島藺生産者 諸富氏、七島藺工芸作家 岩切氏、  
県農林水産企画課長 井迫



半自動織機を体験している様子

### (3) 国内外の研究者による視察

〈関西大学・学習院大学・亜細亜大学研究者視察〉

日程：令和4年9月13日(火)～15日(木)

視察者：関西大学 総合情報学部 徳山 美津恵 教授

学習院大学 経済学部 上田 隆穂 教授

亜細亜大学 経済学部 伊藤 匡美 教授

視察先：七島藺学舎、はやしファームなど

15日は市・県など行政担当者との意見交換会を実施



意見交換会の様子

〈香港樹仁大學研究者視察〉

日程：令和4年12月24日(土)～26日(月)

視察者：香港樹仁大學

Mak Sau-Wa Veronica 准教授(人類学者)

大阪学院大学 国際学部 竹井 恵美子 教授

国立民族学博物館 ピーター・マシウス 教授

視察先：しいたけほだ場、はやしファームなど



ほだ場視察の様子

(4) J-GIAHS 会議・雑穀サミット

徳島県三好市で J-GIAHS 会議が開催され、日本農業遺産地域の加入、要領の改正等について説明があった。併せて、雑穀サミットが開催され、事例報告やパネルディスカッション、エクスカージョン等が行われた。当地域認定 10 周年に向けた取組について情報収集を図った。

日程：令和 4 年 8 月 29 日(月) ～ 30 日(火)

場所：徳島県三好市東祖谷歴史民俗資料館



パネルディスカッションの様子



エクスカージョンの様子

(5) 他県の認定地域行事への参加

〈「世界農業遺産」認定記念シンポジウム(琵琶湖地域)〉

滋賀県大津市で「琵琶湖システム」認定記念シンポジウムが開催され、基調講演及びパネルディスカッションが行われた。当地域認定 10 周年に向けた取組について情報収集を図った。

日程：令和 4 年 11 月 7 日(月)

場所：滋賀県立県民交流センター(ピアザ淡海)



基調講演の様子



パネルディスカッションの様子

〈「大崎耕土」認定 5 周年記念フォーラム〉

宮城県大崎市で「大崎耕土」認定 5 周年記念フォーラムが開催され、取組事例報告や分科会等が行われた。

当地域認定 10 周年に向けた取組について情報収集を図った。

日程：令和 4 年 11 月 18 日(金) ～ 19 日(土)

場所：大崎市地域交流センター(あすも)

涌谷公民館、中新田公民館



取組事例報告の様子



分科会の様子

(6) ふるさと祭り東京 2023 - 日本のまつり・故郷の味 - への参加

令和 5 年 1 月 13 日(金) ～ 22 日(日) に東京ドームで開催されたイベントに国内認定地域共同でブース出展をした。

(期間中、全 10 地域が 2 地域ずつ交代で出展)

当地域からは、日出町が出展・販売を行った。

日程：令和 5 年 1 月 19 日(木) ～ 20 日(金)

場所：東京ドーム



イベント広告